

7. プレイスメイキング社会実験 (PARK LIFE SHOW) の実施

多摩中央公園
改修基本方針

1) 実施目的

「多摩中央公園改修基本方針」の策定にあたって、様々な調査手法（アクティビティ調査、市民アンケート、市民ワークショップ）を用いて、市民の利用状況やニーズ等の把握を行っており、そこでの環境改善提案、今後の使い方や過ごし方等のアイデアを実際に試行する「プレイスメイキング社会実験」を、市民ワークショップ参加者のアイデアの試行も含め実施した。

TAMA Central Park「いつもと違う特別な1日」-PARK LIFE SHOW-

2) 実施概要

公園の将来の使い方の試行や、大規模環境改善に向けた市民意向等の把握のため、1日だけ公園利用ルールを撤廃し、社会実験として、様々な取組を試行。ワークショップ参加者自らの企画以外に、他調査での環境改善提案やアイデアの試行、環境改善に関する試行を実施。

実施日：11月4日(日) 10:00～19:00 天候：曇り時々雨

実施事項：48プログラム

①大規模環境改善に向けた試行

新設園路(ショートカット)、
低木伐採、ラクガキ&清掃、
夜間照明実験

②公園の居場所づくりの試行 (サードプレイス等)

大階段の座り場、水辺の座り
場、活動広場、食場、子ども
の居場所(遊具の設置)、夜
の居場所(焚き火場)

③ワークショップ参加者等に よる将来の使い方の試行

公園が1つ、BBQ体験、健康
体験教室、週末簡易物販、
食育体験、プレーパーク、野外ア
ート、屋外映画上映、屋外ワーク
スペース、音楽体験、ハンモック
体験、野外お話し会体験等

3) 実施状況



活動広場の試行(卓球)



アコースティック体験



水辺の座り場・食場



ガイドツアーの試行



屋外ワーキングスペース体験



ピラティス体験



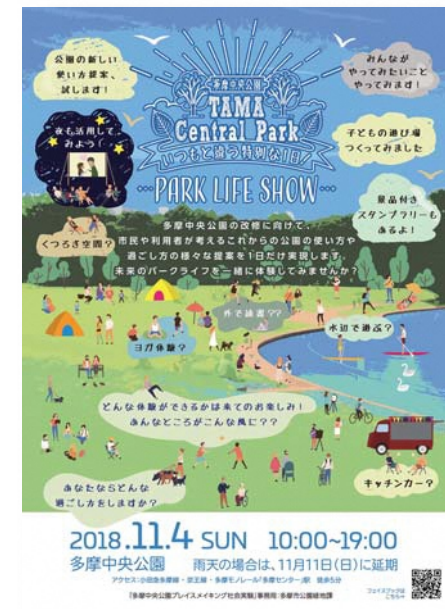
ラクガキ&清掃体験



ハンモック体験



屋外映画上映



周知チラシ

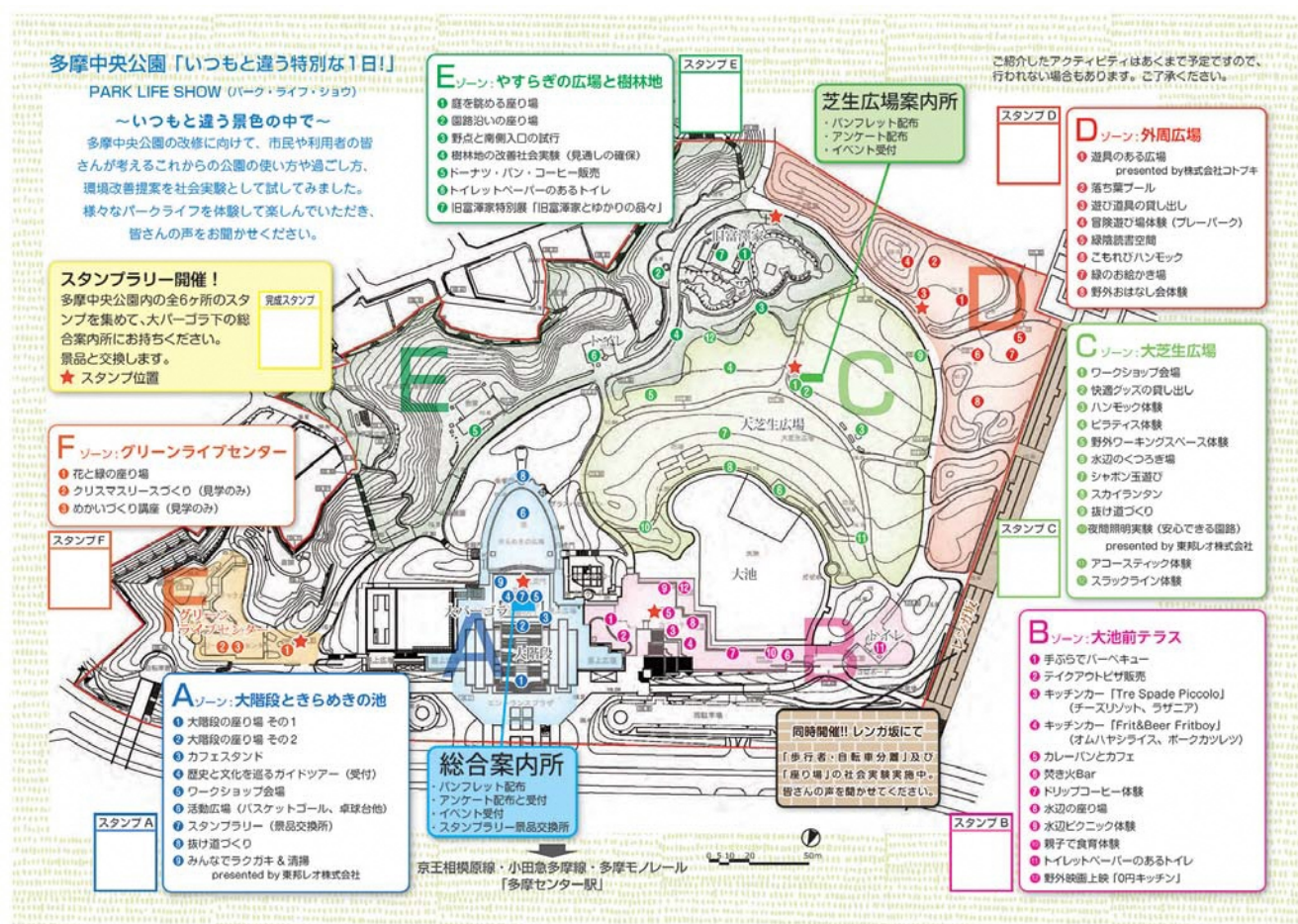
4) 実施効果

■ワークショップ参加者の意見交換のまとめ

- ①ある資源を活かすこと(木々、池やテラス、土など)が重要である。
- ②もっと公園を知ることができるきっかけをつくるとよい。
- ③ハードだけでなく運営の仕方やマネジメントで様々な活用ができ、環境も変えていける。
- ④市民が責任をもって一緒にルールをつくることが重要。
- ⑤夜の活用や景色づくりが重要(夜の安全や非日常づくり)。
- ⑥公園の中で、自分の好きな場所を選べる環境づくり。
- ⑦晴れの日だけでなく、公園の使い方(屋根のある場所)も重要。

■実施効果

- ①新たな使い方提案に関する理解、気づきや共感につながった。
(イスを置くだけでも効果があること、改修工事だけでなく既存素材を磨くことも有効であること、公園に食べる場が求められていること、1枚の白い日よけシートが公園施設のあり方を教えてくれたこと、社会実験で新たな課題や必要なものがわかった、地域の担い手がたくさんいることに気づいた等)
- ②今後の公園活用に向けた担い手の発掘につながった。
- ③多世代が同じ空間と時間をシェア(みんなで少しずつ譲り合いながら多様性を享受)することの楽しさも感じてもらった。
- ④当日、雨がぱらついたため、公園の利用の8割を占める大芝生広場にあまり人がおらず、市民により様々な「コト」を起こしたエリアに人に賑わいができたこと(コト体験による人の呼び込み)を共有。雨が降ったことで更なる使い方の検討につながった。
- ⑤ハード整備だけでなく、市民が自らルールや運営に関わりを持つことが重要という見解にいたった。



8. 市民ワークショップ（提案書）

多摩中央公園
改修基本方針

1) 実施概要

市民協働による改修方策を作成するため、多摩中央公園の魅力や問題点、今後の使い方や過ごし方から見たあり方などを検討する市民ワークショップを開催し、その成果を「提案書」としてまとめた。

今回の市民ワークショップでは、大妻女子大学松本ゼミに所属する学生15名がワークショップの運営補助として参加し、参加者とともに様々な意見交換を実施した。

参加者：公募により49名+大妻女子大学松本ゼミ生15名

第1回 WS (10/14)

- ・公園の魅力、問題点
- ・今後の使い方、過ごし方の提案

第2回 WS (11/4)

- 「プレイスメイキング社会実験～PARK LIFE SHOW～」
- ・環境改善や参加者アイデア等の試行実施

第3回 WS (12/2)

- ・改修テーマと実現したいこと
- ・実現方策の検討

第4回 WS (1/26)

- ・提案書の完成に向けた作業

振り返りの会 (11/11)
・企画実施や実験の感想や気づき

2) 市民ワークショップ提案書（概要）

改修テーマ
(将来像)

今ある環境を守り育て、包容力や柔軟性を活かす公園



市民が主体的に関わり、多様な活動が可能な No といわない公園



市民が楽しみ誇れる多摩セントラルパークへ

(行けば何かがある、体験ができる公園、近隣や市外の人々も呼べ住んでみたくなる魅力へ)



実現したいこと

実現方策「施設・設備」

実現方策「ルール・運営管理」

実現方策「市民の関わり」

その1

柔軟な公園のあり方と公園ルールによる多様で可変的な取り組みを実現する！

- ・多摩がいいと思える多様なライフスタイル（活用）の実現、市民の想いの実現の場、市外の人々も呼べる魅力づくり。

その2

子どもの居場所（遊び場）があり、子どもと楽しめる公園にする！

- ・プレーパーク（自分たちで考え遊べる場）
- ・遊具のある公園（大人の見守りの場もある）

その3

情報の共有化を図るとともに、情報発信を充実させる！

- ・公園案内板、サイン、案内所の設置
- ・取組やイベントなど多様な情報発信（HP や Facebook など）
- ・公園や周辺地域の歴史文化の発信
- ・本公園への理解や価値の共有

その4

現在の公園の環境や資源を守り活かす！

- ・広くきれいな芝生、緑が多く自然が豊か、変化に富んでいるなど本公園の環境を守り、公園の自然や施設などの資源を活かす。

空間場

◎多様な活用が可能な場づくり

- ・利用ルールや一部占有等により、市民が自由度を高く使える場の確保。

施設設備

◎雨の日や暑い日でも楽しめる施設

- ・膜屋根施設、仮設の日よけや雨よけ（タープ）

◎可変的な活用を可能にする設備

- ・電源、水道（手洗い場）

◎可変的な活用を可能にする道具や備品

- ・レンタルグッズ倉庫、稼働イスやテーブル

空間場

◎子どもの遊び場

- ・子どもの遊び場（子ども主体の場）の確保

施設設備

◎子ども関連の施設や道具等

- ・遊具の設置（滑り台等）、プレーパーク用倉庫、遊び道具入れ倉庫、シェルターや四阿

施設設備

◎情報案内関連施設・設備

- ・管理事務所、案内所の設置
- ・公園案内板、サイン、看板の設置

空間場

◎公園環境づくり

- ・山桜の名所づくり、夜の風景づくり、富士山が見える場づくり（樹木の間伐）

施設設備

◎休憩施設

- ・園路等にベンチ

◎柔軟な活用を可能にする運営のしくみづくり

- ・民間や市民等によるコンテンツや公園の運営管理（企業、NPO、市民団体等）
- ・倉庫から道具を使えるしくみ（可動テーブルやイス、バーベキュー設備、舞台設備、遊び道具等）
- ・儲かる公園の運営

◎自由度の高い基本的な公園ルールづくり

- ・市民がつくる禁止が少ない（自由度の高い）ルール、No といわない公園ルール
- ・イベント関連の自由度が高いルール（臨時出店のルールづくり）

◎管理方法

- ・常駐管理（安全安心の確保や情報発信としての管理事務所や案内所）

◎情報発信

- ・本公園のホームページ、Facebook、パンフ、看板等による PR

◎公園ルールづくりへの市民参加

- ・市民参加による公園ルールづくり

◎多様な公園活用への市民参加

- ・定期的な社会実験の日など市民のチャレンジや、新たな価値を作れる土壌やしくみづくり
- ・人育て、できる人の募集
- ・プレーリーダーの育成（プレーパーク）

◎市民参画による運営管理

- ・市民や市民団体、大学生の管理運営への関わり（レンタル設備等の管理、公園管理、夜間パトロールなど）
- ・市民ボランティアの組織（ガイドや清掃等）

◎市民の改修作業への参加

- ・市民参加による舗装の清掃や磨くことによる機能更新（素材や大切に、日本魚介図をみがく）
- ・市民参加による樹木の間伐とその伐採木でのベンチづくり

1) 落合中学校ワークショップ

<実施概要>

多摩中央公園に近く、本公園の利用者も多い落合中学校生徒に、中学生の視点での公園の魅力や課題、改修に向けたニーズ等の調査を11月22、27日に実施した。実施方法としては、生徒会に中心になってもらい目安箱による意見聴取とワークショップによる提案の2つの方法で行った。

ワークショップ + 目安箱

<ワークショップ結果>

◎改修テーマ案

「全体的にきれいな公園に」

「楽しく安全で快適な公園」

「安全楽しいマジうれしい」

「今あるものを活用してより楽しく、安心して使える公園」

「年齢問わず楽しめる公園、わくわくする公園」

「にぎやかに、季節に合わせたイベント、老若男女安全に楽しく、インスタ映え」

「いつでもどこでも誰もが安心してくつろげる公園」

「安心・安全で色々な人が楽しめる緑豊かな公園」

◎具体的なアイデア等の意見

カテゴリ	具体的なアイデア等の主な意見
大階段ときらめきの池	・アクティビティを増やす（バーベキュー、スケート、射撃等） ・きらめきの池の水質改善 ・大階段の改善（エレベーターの設置、スロープの設置、階段に絵を描く）
大池前テラス	・アクティビティ増やす（ボート、泳ぐ、スケート、水上アスレチック等） ・大池の改善（水質向上、ライトアップ、おしゃれに） ・池にボールが落ちないように低い柵の設置 ・トイレをきれいに、Wi-Fiの設置、ベンチをきれいに、自転車置き場の設置
大芝生広場	・アクティビティ増やす（イベント、花火大会、水風船、イルミネーション等） ・雨が当たらないスペース、勉強や読書スペース ・スポーツ施設の設置（バスケット、フットサル、テニスコート、壁当て、野球場等） ・防災施設の設置、ベンチやテーブルの設置、水道の設置 ・平らな広場がほしい、遊具がほしい
外周広場	・子どもの遊び場や遊具の設置 ・スポーツ施設やバーベキュー施設の設置 ・園路を改修、外灯がほしい
旧富澤家	・たくさんの人が訪れる工夫（イベントなど）
東樹林地 グリーンライブ	・賑わいづくり、園路の改修、外灯を増やす、樹木を伐採して明るくする、ベンチの設置 ・もっと身近にする、道を目立たせる、花の種類を増やしてカラフルにする



<目安箱の結果（意見数：574件）> ※約200種類の様々な意見が出された。

◎多かった意見

全体：トイレをきれいに、ベンチを増やす、外灯を増やす
大池：池をきれいに、低い柵の設置、橋を架ける、ボート、スケートリンク、プール
大芝生広場：遊具の設置、アスレチックの設置、バスケットゴールやサッカーゴールの設置、イスやベンチの設置、（勉強や食事ができる）テーブルとベンチの設置



◎その他意見例

・コンビニの設置、インスタ映え、電源設備、水風船や花火がOKの場合、小さい噴水、ライトアップ、イルミネーション、スケボーパーク、ドッグラン、ミスト設備、Wi-Fi設備、雨よけの施設、BBQ場、ボールエリア、時計、桜、屋根付き遊び場、レンタサイクル、道具の貸し出し等

校内チラシ



2) 庁内ヒアリング

<実施概要>

本公園は、所管する公園緑地課以外にも様々な部署が関わりをもっており、現状の使い方や今後の改修に向けた基本方針の検討材料とするため8月6、8、10日に庁内にヒアリングを実施した。

実施対象：19課

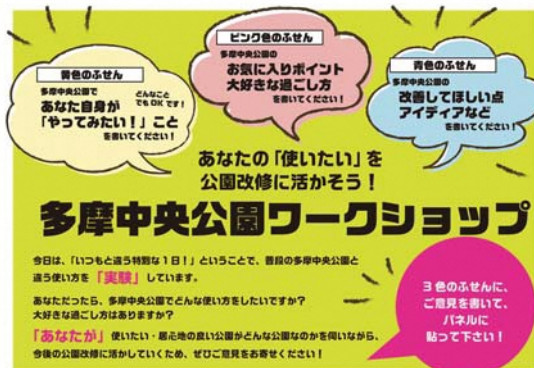
主な質問：①現在の多摩中央公園との関わり、②今後、多摩中央公園改修にあたっての要望や配慮事項等

カテゴリ	主な意見
考え方	・公園単体ではなく、多摩センター駅周辺を含めた魅力アップ ・他の地域との差別化できる魅力の創出 ・多摩中央公園の今後の使い方が市の新しいモデルとなってほしい ・マネジメントがカギであり、民間活力と市民や市民団体等の効果的な関与 ・周辺商業施設や企業協力で、魅力や使いやすさを向上 ・公園で賑わいを生み出し、利用者を増加させたい ・改修の観点として、主に安全、魅力向上、きちんとした管理できること ・持続可能なまちに向け、公園改修にあたっては若い世代に入ってほしい ・そこに行けば何かやっている場の創出と仕掛けが必要
空間・広場	・平らな広場（イベント利用、避難場所として） ・遊具要望として、アスレチック、ターザンロープ、ふわふわドーム、ローラー滑り台など
遊具施設等	・遊具設置は、公園への景観に配慮 ・水遊びができる空間がほしい
便益施設等	・屋根のある広場、自販機、水飲み場、ミスト、ゴミ箱、花壇、時計、オブジェ ・トイレの増設、トイレトペーパーの設置要望があった ・ドックランがいいという意見と、糞などの管理が課題という意見があった ・図書館本館とパルテノン多摩の間に、図書館の屋外利用も考慮した屋根がほしい ・ベンチの増設、可動式のイスの設置、公園内に小さなステージがほしい ・防災設備としては、マンホールトイレ、かまどベンチ、備蓄倉庫の設置
サイン	・旧富澤家などへの道案内・サインがほしい
大池	・柵の設置は賛否両論 ・噴水施設の撤去、噴水の1日稼働 ・見るより活用（カヌーや水遊等）できるようにする、小さくてもしっかり管理できるほうが重要
きらめきの広場の池	・衛生面から常時水をためるのではなく、地面から水や霧がでるのがよい ・ステージエリアとし、通常はダンス等練習の場、休日はイベントステージにする
園路・動線	・ロケ車やキッチンカー、消防車など、公園内園路の車両動線の明確化 ・公園側とパルテノン多摩への動線の明確化 ・車イスやベビーカー等に配慮した舗装材や勾配の改修 ・自転車の通行エリアやルートを決める
環境美化・マナー	・地形上、パルテノン多摩に向かってゴミや泥がたまりやすい ・ペットの糞やたばこの吸い殻のない公園 ・屋外イベントの場合、音の配慮
使い方	・持ち込みイベントを受け入れる体制やしくみづくり ・持ち込み企画等に、公園内の屋外イベント資材を有料で貸し出せる体制づくり ・公園内での定期的なマルシェの開催が考えられる ・夜の活用 ・公園内で簡単な食事の提供があると良い ・旧富澤家の積極的な活用 ・子育てしやすいまちをアピールするために、親子などのイベント
情報発信	・公園、旧富澤家、グリーンライブセンター、パルテノン多摩等のイベント情報共有化、一元的PR
環境保全	・外来種についてどのように対応していくかを考えるモデルフィールドとする

1) 社会実験来訪者ワークショップ

<実施概要>

プレイスメイキング社会実験の際、多摩中央公園に訪れた方に本公園に関する意見について、「やってみたいこと」「お気に入りポイント、大好きな過ごし方」「改善してほしい点、アイデアなど」を付箋に書いて図面に貼っていく参加型ワークショップを、大パーゴラ下の総合受付と、大芝生広場の受付の2箇所で開催。



<結果概要> 全意見数：66

- ・「改善提案」は現状の問題点の改善から更なる魅力 up につながる意見など、多様な意見がだされた。
- ・「やってみたいこと」の多くは、ハード整備だけでなく、公園のルールや参加イベントなど、ソフトの運用で実現可能な意見が多く見られた。

2) 子どもワークショップ

三角広場では、遊具の設置、プレーパークを行い、子どもの遊び場として社会実験を実施した。当日、子どもや親子連れが多く訪れた本広場において、子どもたちに将来どんな公園にしたいか、子どもワークショップを行った。

設問「どんな公園が好き？」



<公園イメージに関する意見>

- ・みんなと遊べる
- ・楽しい公園

<スポーツ関連の意見>

- ・ボール遊びができる、ドッチボール、スケボーエリア、サッカーゴール等

全意見数：126

<大人の意見>

- ・小さい子が遊べるスペース、ベンチ、カフェ、おむつ替えスペース、夜明るく、安全のため木を減らす、ピアガーデン 等

<多かった意見>

- ①遊具設置関連 82
 - ・すべり台 26、ブランコ 15、鉄道 14)
 - ・その他、うんてい、ふわふわドーム、複合遊具、トランポリン、ジャングルジム等
- ②プレーパーク 10
 - ・プレーパーク、木登り、焚き火、穴掘り、自然を使った遊び、自分の道具を使える等
- ③アスレチック 5

3) プレーパークワークショップ

市民ワークショップの一環として実施した、プレイスメイキング社会実験の取組の一つに、プレーパークを試行し、参加者の子ども達を中心に、公園のあり方に関する意見を集めた。

設問「どんな公園になってほしい？」



全意見数：38

<社会実験の感想> 「プレーパーク」

- ・プレーパークが楽しかった
- ・音楽隊が良かった
- ・エアクッションが楽しかった
- ・自由について大人と子どもが考えるきっかけになった
- ・用途が決まっていない遊び道具、発想もできて子どもの心と体も満足
- ・色々な遊びができるのが楽しい！
- ・決められた遊具ではなく、子どもが自然に遊びだすのがいい

<どんな公園になってほしい> 「施設・設備」

- ・プレーパークがほしい
- ・自由に遊べるプレーパークいいな
- ・たき火が出来るプレーパーク
- ・ロープにたき火にどろだんご
- ・トンカチで小さな家とか作りたい
- ・野外炊事場
- ・水遊びができるといいな
- ・プールが欲しい
- ・ハンモックが欲しい
- ・ツリーハウス
- ・赤ちゃんがごろりとできる四阿

<どんな公園になってほしい> 「あり方」

- ・子どもたちの居場所
- ・地域の人が来なくなる場所
- ・居心地良い場所
- ・みんなが集え大人も子どもも自由に遊ぶ場
- ・いつ行っても誰かがいる公園
- ・色んな遊びができる遊び場があったらいいな
- ・子どもが自分で考え決められる公園
- ・お菓子がいっぱい公園

※プレーパーク:子どもが自由に創造的な遊びを展開できるように、公園の一部を子どもに開放した遊び場。禁止事項をできるだけ排除し、遊びの展開を助ける年上のプレーリーダーが常駐する。

1) 実施概要

今回の市民ワークショップでは、大妻女子大学社会情報学部松本ゼミのゼミ生 15 名が、ワークショップの運営補助とともに、市民と一緒にワークショップの提案を行った。

一方、ゼミ生独自に多摩中央公園を調査し、問題点や感じたことなどを出し合いながら、本公園の課題解決や魅力向上提案を行った。

2) 現地踏査結果

公園改修の提案の検討にあたり、事前に本公園の現地踏査を実施し、公園の「魅力」「課題」「公園でしてみたいこと」について、ワークショップを実施。



①魅力

利用者

- ◇子連れの利用者が多い
- ◇子どもが遊べそう

景観

- ◇風景がいい
- ◇デートスポットには最適

公園の規模

- ◇とても広くてのびのびと過ごせる場所だった

- ◇池が大きい

- ◇芝生スペースが広い

施設・設備

- ◇歴史的建造物があった
- ◇意外と色々な施設があった
- ◇ベンチがあった
- ◇階段の上がちょっとおしゃれ

②課題

園路

- ◇園路がガタガタだから、ベビーカーが引っ掛かりそう
- ◇園路がガタガタ・ポコポコであるため、歩きにくい

施設・設備

- ◇温室がよくわからない
- ◇温室がごちゃごちゃしている
- ◇ベンチなどの休憩する場所がない

照明

- ◇夜は真っ暗になる
- ◇外灯が少ないから夜が暗そう

階段

- ◇階段が長すぎる
- ◇スロープがあると良い (階段が多い)

汚れ

- ◇汚い (水、ベンチ)
- ◇大池ときらめきの池が汚い

公園の空間

- ◇空きスペースが多い
- ◇何も無い
- ◇小さいエリアの使い道がない

自然環境

- ◇樹林地にある竹は何の意味があるか
- ◇花が一か所にまとまっていないため、少なく見える
- ◇樹木が多く、薄暗い印象

水回り

- ◇トイレが少し昔っぽいく (もう少しきれいに)

- ◇トイレが少ない

- ◇水道が少ない

法面

- ◇芝生が傾斜になっていて、ボールが池に落ちそう
- ◇坂が多い

③公園でしてみたいこと

遊具の設置

- ◇遊具スペースがほしい
- ◇アスレチックスペースがほしい
- ◇砂場がほしい (ビーチサイドみたいなおしゃれなやつ)
- ◇ハンモックやターザン等のアスレチックスペースがほしい

イベントの開催

- ◇フリーマーケットをやりたい!
- ◇子ども向けの公園探検イベント

サイン・案内所

- ◇公園マップを置く
- ◇公園の場所がわかるような看板を立てる

企業との連携

- ◇サンリオとコラボ
- ◇キティちゃんデザインのオブジェを置く

花木の設置

- ◇花等の彩りがほしい

園路の改善

- ◇園路の機能を分ける (ランニングとサイクリングの分離)

占有スペースの確保

- ◇パーベキユースペースがほしい (グランピング)
- ◇休憩スペースがほしい

- ◇芝生スペースをフットサルや、テニス用に貸し出す

- ◇バスケットみたいな空間がほしい

- ◇イベントスペースがほしい

大池の改善

- ◇白鳥ボード
- ◇鯉とか泳がせて餌をあげたい
- ◇噴水のような動きのあるものがほしい
- ◇池に橋を架けたい
- ◇池に入ってしまった時ようにシャワー室がほしい

施設・設備の設置

- ◇大階段のサイドにエスカレーターを設置する
- ◇ベンチ・テーブルがほしい
- ◇屋根
- ◇工作教室ができる施設がほしい
- ◇温室を拡張する
- ◇階段などに興味を引くものを描く

その他

- ◇デート
- ◇ピクニック
- ◇固めのボールで遊ぶ
- ◇竹馬

3) 公園改修の提案

現地踏査で感じた問題点や、11/4 に実施した「プレイスメイキング社会実験」を踏まえて、本公園に係る改修提案を4 班に分かれて整理し発表を実施。

各班の提案概要は以下の通り。



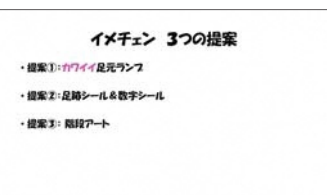
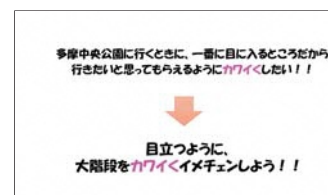
提案概要

1 班

【イメチェン☆大階段】

課題：大階段が無機質で閑散し、上りたいたと思えない。

提案：“カワイイ”をテーマに、「足元ランブ」「足跡、数字シール」「階段アート」を設置することで、上りたい、写真を撮りたいと感じてもらいイメージチェンジを提案。

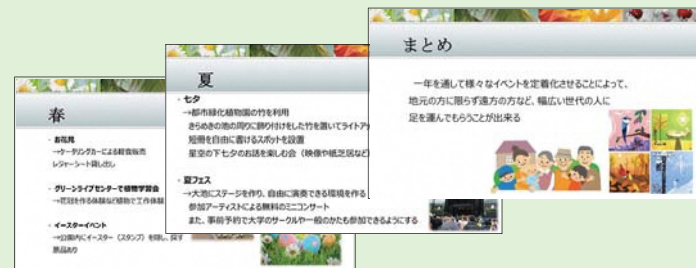


2 班

【多摩中央公園を四季で感じる】

課題：イベントがあまり開催されていない。

提案：地域住民による利用が主な公園を地域外の人にも訪問してもらえるよう、四季ごとに様々なイベントを開催することを提案。春はお花見、夏は七夕、秋はハロウィン、冬はイルミネーションなど一年を通して何度も訪れたくなる公園づくりを提案。

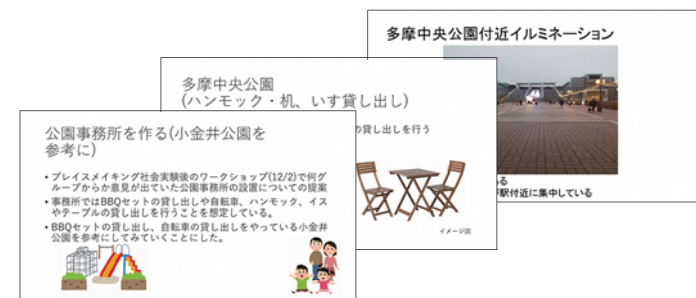


3 班

【若い人も利用したくなる公園づくり】

課題：本公園の利用者は親子連れと老人が多く、若い人が少ない。

提案：若い人に公園を利用してもらうためイルミネーションの設置、BBQ 場の整備、自転車の貸し出しなどを行うことで、利用者を増やし賑わいある公園づくりを提案。



4 班

【外周広場の有効活用】

課題：外周広場は薄暗く、防犯上課題。

提案：子どもが安心していられるプレーパークを提案。プレーリーダーによる安心して遊んで楽しめる空間 (火の使用、読み聞かせ、木工工作) づくりと共に、見守る保護者同士の交流機会を促すことで、地域コミュニティ形成に寄与することを提案。



10. 多摩中央公園の問題点と市民ニーズ等のまとめ

現状の環境や施設に関する基本的問題点など	利用実態、市民アンケートやワークショップ、庁内ヒアリングなどの意見	改修の方向性
<ul style="list-style-type: none">公園環境を維持継承していくための樹木の適正化が必要芝生の生育が悪い箇所や樹木の根の露出などの対応が必要	<ul style="list-style-type: none">緑が多くてよい、散策によい、高低差があり地形が魅力、静かで過ごしやすい、管理がよい、情緒がある、芝生広場がくつろげる、広い、遊びやすい、きれい公園利用の満足度は「やや満足」と「満足」の満足傾向が約5割で、「やや不満」と「不満」の不満傾向は約1割（多摩市立多摩中央公園現状と環境改善に関するアンケート調査より）ある資源を活かす、現在の環境を活かした公園づくり（市民WS）「憩い、くつろげる場」「水と緑がある場」「散策利用」「日常の居場所」が今後の高いニーズ（市民アンケート） ＜当初整備コンセプト：さりげない空間の創造＞の継承	<ul style="list-style-type: none">緑の健全な継承と育成→改修基本方針O1-①へ
<ul style="list-style-type: none">大池の水質が悪い、排水機能が不足くつろぎの広場内の水景の動きがとまっており、水質等も含め問題であるきらめきの広場の池の水質がよくない、池内の植栽島や壁泉が活用されていない公園全体の水循環施設が機能していない	<ul style="list-style-type: none">水があるのがよい大池やきらめきの広場の池が汚い「憩い、くつろげる場」「水と緑がある場」「散策利用」「日常の居場所」が今後の高いニーズ（市民アンケート）	<ul style="list-style-type: none">水景の継承と改善→改修基本方針O1-②へ
<ul style="list-style-type: none">公園改修にあたっては現状の資源や素材を活かすことも必要	<ul style="list-style-type: none">ある資源を活かす、現在の環境を活かした公園づくり（市民WS）市民の改修作業への参加（市民WS）	<ul style="list-style-type: none">公園資源や素材の継承と改善→改修基本方針O1-③へ
<ul style="list-style-type: none">鉄道を利用する来街者などから大階段の上に公園があることがあまり認知されていない公園関連の歴史文化などを整理する必要がある	<ul style="list-style-type: none">公園があまり知られていない週1回以上の利用率は1割以下で、日常的な利用は少ない。また、公園に行かない理由として、行くきっかけがないとの意見が多い（多摩市立多摩中央公園現状と環境改善に関するアンケート調査より）もっと公園を知るきっかけが必要（市民WS）	<ul style="list-style-type: none">公園の認知促進、歴史文化等の継承→改修基本方針O1-④へ
<ul style="list-style-type: none">災害時や防災訓練等で対応が十分でない（防災施設や避難場所としての平場の確保）東樹林地に隣接する住宅地の一部が土砂災害警戒区域にあり対策が必要	<ul style="list-style-type: none">災害時の対応を考えてほしい、防災機能（施設）を充実してほしい	<ul style="list-style-type: none">災害対応の強化→改修基本方針O2-⑤へ
<ul style="list-style-type: none">樹木の繁茂により防犯上問題がある、大池横は常緑樹が繁茂し暗い外灯の設置数の不足や、樹木の成長により機能が十分発揮できていない外灯がある	<ul style="list-style-type: none">緑が多すぎて安全上問題、見通しが悪い、安全安心の公園にしてほしい、昼でも暗い、治安が問題夜暗くて危ない、外灯を増やしてほしい	<ul style="list-style-type: none">防犯対策の強化→改修基本方針O2-⑥へ
<ul style="list-style-type: none">主要動線園路の段差や急な園路勾配、舗装や階段等の経年劣化大階段を登るのが大変、大階段の休憩施設が使用できない（閉鎖されている）けもの道ができている	<ul style="list-style-type: none">園路がバリアフリーでない、歩きにくい、走りにくい、わかりにくい、雨の日に滑る、ベビーカーや車いすが通りにくい、動線が悪い大階段を登るのがつらい、大階段が雨の日すべる、大階段を改善してほしい、威圧的	<ul style="list-style-type: none">園路などの改善→改修基本方針O2-⑦へ
<ul style="list-style-type: none">休憩施設（ベンチやシェルターなど）が不足、老朽化トイレが老朽化、バリアフリー対応でない	<ul style="list-style-type: none">休憩施設（ベンチやシェルター等）が、老朽化、数が少ない（ベンチ等が少ない、施設が古い）、散策利用や佇む場所としてもっとほしいトイレが暗くて汚い朱雀門の意味がわからない	<ul style="list-style-type: none">老朽施設の改善→改修基本方針O2-⑧へ
<ul style="list-style-type: none">園内サインが老朽化している様々な園内サインが混在している	<ul style="list-style-type: none">サインが少ない、サインがわかりにくい大パーゴラからの誘導、大芝生広場からくつろぎ広場への誘導など、サインがなくわかりにくい	<ul style="list-style-type: none">サインの改善→改修基本方針O2-⑨へ
<ul style="list-style-type: none">開園当時と比較し、周辺にはマンションなど住宅地が増え、子育て世代を含め子どもが増加しており、周辺環境に対応した小さな子どもの遊び場がない外周広場は利用者が少ない	<ul style="list-style-type: none">遊具がない、子どもの遊び場がない子どもの遊び場がほしい、子ども関連の施設や道具が必要（市民WS）あまり使われていない、子どもの遊び場や遊具の設置、遊具を設置してほしい、遊具は景観に配慮してほしい子どもが安心して水遊びできる空間がほしい	<ul style="list-style-type: none">子どもの居場所づくり→改修基本方針O2-⑩へ
<ul style="list-style-type: none">空間や施設・設備が市民の多様なニーズに対応できていないレンガ坂沿いの芝生広場は傾斜もきつく、利用しにくい東樹林地は、傾斜もきつく、あまり活用されていない、都市緑化植物園が機能していない野外実習広場が活用されていない	<ul style="list-style-type: none">アクティビティを増やしてほしい、年齢を問わず楽しめるわくわくする公園にしてほしい、安心してくつろぎたい、屋根のある広場がほしい、ダンスやバスケット、その他多様な活動が可能なスペースがほしい、活動スペースが少ない平らな場所がない、平らな場所を確保してほしい多様な活用が可能にする場づくり、施設、道具・備品・倉庫が必要夜の活用や非日常の景観づくりも必要、自分の好きな場所が選べる環境づくりが必要、雨の日や暑い日も楽しめる屋根のある活動の場も必要（市民WS）WIFI、水道、電源がほしい、水道が少ない、電源が自由に使えない飲食する場が不十分、手軽に飲食できる場がないイベントなどをもっとやってほしい、イベントが少ない、利用者が少ない、たくさんの人が訪れる工夫が必要水遊びできる場がほしい東樹林地は、管理が悪い、人が少ない、賑わいづくりが必要近寄りにくい、雰囲気、隔離されている、生垣の見本はいらない、竹を活かしていないグリーンライブセンターの温室が狭い、入りにくい	<ul style="list-style-type: none">多様なニーズへの対応（ハード）→改修基本方針O3-⑪へ
<ul style="list-style-type: none">禁止事項が多い市民の多様なニーズに対応できていない	<ul style="list-style-type: none">禁止事項が多い、市全域の人が楽しめる場でない柔軟な活用が可能になるルールづくりが必要、自由度の高いルールが必要、市民が責任をもってルールをつくることも必要、自分の好きな場所が選べる環境づくりが必要（市民WS）	<ul style="list-style-type: none">多様なニーズへの対応（ソフト）→改修基本方針O3-⑫へ
<ul style="list-style-type: none">市民の多様なニーズへの対応や安全・安心の向上に資する運営管理が必要樹木の保全と利用者の安全・安心の確保のための両立が必要グリーンライブセンターのバックヤードへ作業車が入りにくく、管理車両の駐車場がない	<ul style="list-style-type: none">運営の仕方やマネジメントで様々な活用ができる、イベントが少ない、市民参画による運営管理	<ul style="list-style-type: none">運営管理の充実→改修基本方針O3-⑬へ
<ul style="list-style-type: none">バルテノン多摩のシティサロンやレストランなど施設との関係性がよくないバルテノン多摩のカフェと公園との関係性が希薄グリーンライブセンターに入りにくい雰囲気となっているグリーンライブセンターの各種講座や教室等の利用に対し、手狭で施設が老朽化旧富澤家が十分に活用されていない（市民の利用や夜間活用など可能性がある）	<ul style="list-style-type: none">バルテノンとの接続が悪い、図書館との関係性が重要	<ul style="list-style-type: none">園内建物施設との関係性強化→改修基本方針O3-⑭へ
<ul style="list-style-type: none">公園情報を把握できる場所がない	<ul style="list-style-type: none">イベントなどの情報発信ができる施設が必要情報案内関連施設の設置が必要	<ul style="list-style-type: none">情報発信機能の改善→改修基本方針O3-⑮へ
<ul style="list-style-type: none">市民ニーズに対応したサービス向上と管理運営コストの縮減との両立が必要	<ul style="list-style-type: none">常駐の運営管理がよい（安全安心の向上、利便性向上、情報発信の充実）	<ul style="list-style-type: none">民間提案の活用→改修基本方針O3-⑯へ

1) 将来像

だれもが楽しみ誇れる
多摩セントラルパーク

市民が誇れる公園環境 × だれもが楽しめる参加型公園管理運営

2) 改修基本方針

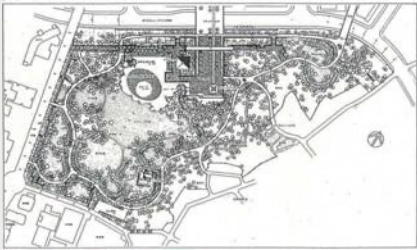
基本方針 01：「継承」今ある環境を守り育て、包容力や柔軟性を活かす環境づくり

- ①健全な樹木・植生の育成・更新
- ②水景の継承・改善
- ③今ある資源や素材を改修に生かす
- ④公園の歴史や市民の思いを伝える

■開設当初の設計趣旨

「さりげない空間の創造」

- ・地域の風景となる公園：都市の景色となる緑
- ・自由度の高い公園：利用対象、目的の多様な広場
- ・機能の潜在する公園：多様な機能を内在する統一された景観
- ・さりげないデザイン：さりげない美しさの演出



基本方針 02：「安全・安心」誰もが安全で安心して快適に利用できる環境づくり

- ⑤広域避難地として防災性能の向上
- ⑥見通しの確保や夜間対策など、防犯性を高める
- ⑦園路の利便性向上（バリアフリー化など）
- ⑧老朽化施設の改修・更新
- ⑨サインの改修
- ⑩子どもの居場所づくりと、地域で子どもを育てる環境づくり

基本方針 03：「多様性」市民・民間事業者が関わり多様で創造的な活動・にぎわいが生まれる環境づくり

- ⑪市民の多様な利用を可能とする特色ある場や設備づくり
- ⑫市民等の多様な活動を可能にする市民協働による柔軟なルールづくり
- ⑬市民の関わりや民間事業者の関わりも踏まえた運営管理の充実
- ⑭パルテノン多摩や図書館本館など園内建物施設と連携した空間づくり
- ⑮多くの人を呼び込める情報発信機能の充実
- ⑯民間提案を踏まえた必要な施設改修

3) 基本方針に基づく主な具体化イメージ

	改修基本方針	主な具体化イメージ
基本方針01「継承」	①健全な樹木・植生の育成・更新	安全なくつろぎや活動の場とするための ○樹木の適正化（樹木の間引き等） ○芝生の改修 ○身近な生物が生活できる環境づくり など
	②水景の継承・改善	心の健康に寄与する水景とするための ○池の水の流れの再整備（池のろ過循環設備の更新） ○池（きらめきの広場、大池、くつろぎの広場）の水質改善（浚渫、濾過施設の改善、排水機能向上）など
	③今ある資源や素材を改修に生かす	☆間伐材を使った市民参加によるベンチづくり ☆市民参加による素材磨き など
	④公園の歴史や市民の思いを伝える	☆伝えるしくみの検討（市民協働による情報集約、ガイドボランティアの検討、情報発信の手法の検討等）
基本方針02「安全・安心」	⑤広域避難地として防災性能の向上	○防災施設及び設備の設置、災害防止擁壁の改修等 ○避難地や防災訓練対応として、一部芝生広場を平坦化 など
	⑥見通しの確保や夜間対策など、防犯性を高める	○見通しを確保し安全性を向上させるため、一部低木等の伐採 ○夜間照明の新設・改修・更新 など
	⑦園路の利便性向上（バリアフリー化など）	○園路（県木の道など含）の改修（舗装材、バリアフリー化） ○小道やくろろぎの広場北側入口などの整備
	⑧老朽化施設の改修・更新	○休憩施設（ベンチ、シェルターなど）の新設・改修・更新 ○グリーンライブセンターの建物施設の改修 ○トイレの改修
	⑨サインの改修	○サイン（案内サイン、誘導サインなど）改修 ☆外周園路をジョギング利用しやすい舗装やサインの整備 など
	⑩子どもの居場所づくりと、地域で子どもを育てる環境づくり	○子どもの遊び場整備、遊具の設置 ☆プレーパーク環境整備 ☆子どもが安心して遊べる噴水型の水遊び施設整備 ☆受動喫煙対策 など
基本方針03「多様性」	⑪市民の多様な利用を可能とする特色ある場や設備づくり	☆一部占有が可能な空間の整備 ☆Wi-Fi、電源、水道設備の設置 など
	⑫市民等の多様な活動を可能にする市民協働による柔軟なルールづくり	☆市民参加型の公園ルールづくり
	⑬市民の関わりや民間事業者の関わりも踏まえた運営管理の充実	☆公民連携による賑わいの企画・運営のしくみづくり ☆公園運営への市民の関わり方の検討 ○管理車両の駐車スペースや管理動線の整備
	⑭パルテノン多摩や図書館本館など園内建物施設と連携した空間づくり	☆公園内建物施設の外部空間への対応を踏まえた連携整備（子育て支援機能との連携、イベント利用などの連携） ○園内建物施設と円滑に移動できる動線・出入口整備
	⑮多くの人を呼び込める情報発信機能の充実	☆民間提案も踏まえたイベント情報等を発信できるデジタルサイン板整備や、多様な情報発信機能の活用
	⑯民間提案を踏まえた必要な施設改修	☆案内管理施設や情報発信施設等の整備

○基本的な環境改善に係る事項 ☆積極的な活用や魅力向上に係る整備事項

市民のだれもが健康で幸せを実感できるまちを目指す健康まちづくりにおいて、だれもが集い、みどりに触れ、楽しむことのできる公園を整備することは重要です。

健康マークが付いている項目は、健康まちづくりとの関連がより深いものを示しています。